

第3回 地域包括ケアシステム推進委員会 主催研修会 開催報告書

1. 開催概要

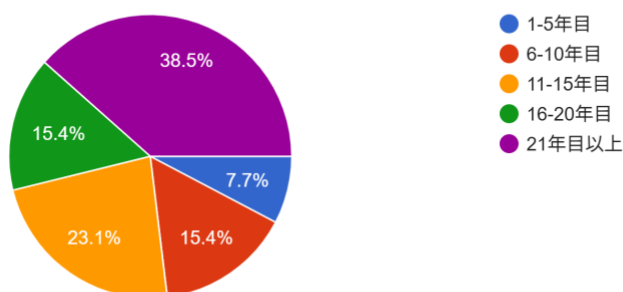
- ・日時：2025年5月30日（金）19:00～21:00
- ・形式：オンライン（Zoom）開催
- ・主催：長野県作業療法士会 地域包括ケアシステム推進委員会
- ・参加者：27名（作業療法士ほか）
- ・目的：地域包括ケアシステムの推進に向け、実践者同士の情報共有とネットワークづくりを促進すること

今回は、地域で継続的な取り組みを行っている作業療法士による実践報告を中心に据え、後半には参加者同士の対話の時間（ブレイクアウトセッション）を設け、日頃の活動や悩みを共有する機会としました。

2. 参加者のプロフィール（集計）

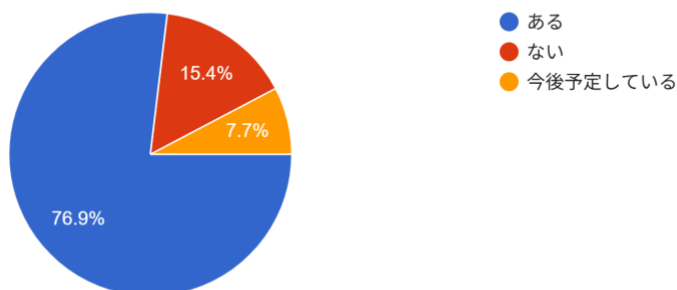
- ・経験年数：

経験年数
13件の回答



- ・専門領域：
訪問リハビリ、身体障害、高齢期、教育、地域、行政、障害福祉、回復期、老健、通所リハなど多様
- ・地域支援事業への参画経験：

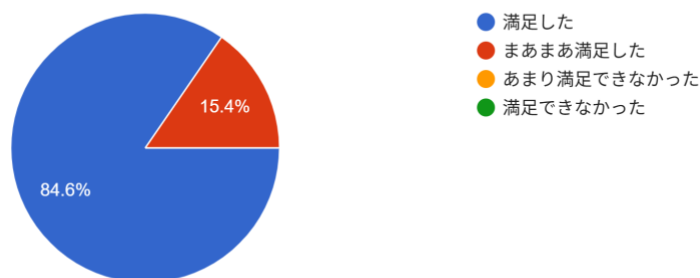
地域支援事業への参画経験はありますか？
13件の回答



・本研修会の満足度：

本研修会にご満足いただけましたでしょうか？

13 件の回答



3. 参加者の声（一部抜粋）

- ・「自身の住む地域でコツコツと活動を頑張りたいと思いました。」（訪問リハ・11-15 年目）
- ・「仕事ではなく、一人の生活者として地域に関わることが信頼につながっていると感じた。」（訪問リハ・6-10 年目）
- ・「PT 士会のような推進リーダー的な動きが OT にも必要と日々感じている。今回は有意義な機会だった。」（行政・21 年目以上）
- ・「大槻先生の実践には学ぶ点が多く、少人数で意見交換できる場もとても良かった。毎回、思いですが非常にこの空気感がよいです。」（回復期・16-20 年目）
- ・「横のつながりを求めている人が多い。例えばグループ LINE など継続的につながれたら嬉しい。」（フリーランス・16-20 年目）
- ・「身障や介護に限らず、精神・発達など多領域の実践紹介も今後ぜひ。」（障害福祉・21 年目以上）

4. まとめ・今後に向けて

参加者の 9 割以上が「満足した」と回答し、内容・進行・雰囲気に対する評価が高い結果となりました。自由記述からは、「一人の生活者として地域とつながることの大切さ」「職種・所属を超えた横のつながりへの期待」などが伺え、委員会活動の方向性とも合致していました。

今後の要望としては、

- ・他領域（精神・発達など）との連携
- ・新しい人材の巻き込み
- ・継続的な場の設定（例：グループチャット、定期座談会）

が挙げられました。委員会としては、こうした声を反映しながら、地域包括ケアの中で作業療法士が果たす役割を可視化・発信していく活動を今後も継続してまいります。